

済生会だより

～まえばし～



*写真がご趣味の患者さん、ぜひ1階地域連携室までご連絡ください。



コスモスは原産地メキシコの外来植物で、漢字では桜に見立てて「秋桜」と書きます。台風で倒されても、雨粒にたたくかれても、茎の途中から根を出し、また立ち上がり花をつける強くたくましい花。葉も細く華奢で、見た目は可憐な花ですが、とても生命力にあふれているのです。環境がどうあろうと凛とした花を咲かせる、そんな人間でありたいな。(撮影者：新井利雄さん)

健診のすすめ



副院長 吉永輝夫

先日の上毛新聞に、2009年度の県民一人当たりの医療費は40万2千円、平均を1割ほど下回り全国第39位であったことが報道され、県民の健康意識のあらわれ、健康管理に努めている結果ではないかとのコメントがありました。実際、住民健診の実績比較によれば、本県は他県と比較しほとんどの項目で平均以上の受診率を達成しており、確かに健康意識の高さを物語っている可能性はあります。疾患の予防や早期発見を目的とした健康診断は、住民健診や職場健診、人間ドックなどの形で実施されています。通常の保険診療、つまり病気の治療や検査のために病院を受診する場合と同様どちらも病院で実施されるため、一般に保険診療と健診の違いを意識することは少ないかも知れません。しかし、両者は全く別の代物です。大雑把に言えば、保険診療はかかってしまった病気を治療するためのもの、健診は病気の予防や早期発見により自分自身の健康維持を実現するためのものです。費用体系的にも別々で、保険診療は主に医療保険や自己負担金で賄われますが、健診は種類により自治体や職場あるいは個人などが費用を負担しています。前記の県民一人あたりの医療費

とはこの保険診療による医療費の部分の部分を指しています。

健診には、高血圧・高脂血症・糖尿病・肥満などのいわゆるメタボ健診と肝障害やがん検診などの項目が組み合わされています。発生頻度や治療の効果そして費用対効果など検討され、がん検診としては胃癌・大腸癌・肺癌・乳癌・子宮癌・前立腺癌などが対象になります。通院されている患者さんの多くは、当院あるいは連携しているホームドクターの医療機関で健診を受けていらっしゃると思いますが、通常診療以外に健診を受ける必要はないと考えている患者さんも少なくないようです。例えば、CTを撮ってもらったから全身チェック済みだと考えてしまう場合もあるかも知れません。確かに脾疾患の定期検査でたまたま肺癌が見つかることもあります。これはあくまで偶然であって、予防的な健康管理の所産ではありません。治療中の疾患や症状によっては、ほとんどの検診項目が診療の過程ですでにチェック済みという場合もありますが、基本的には診療とは別に健診を受ける必要があると考えられます。厚生労働省では「がん検診、愛する家族への贈り物」をキャッチフレーズに、毎年10月「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」を実施しています。キャンペーンといっても割引やキャッシュバックがあるわけではありませんが、大切な贈り物を見つけられる可能性があります。人間ドックは受けた方が良いのか、住民健診はどうしたらよいのかなど、一度ぜひかかりつけの先生にご相談されてはいかがでしょうか。



基本方針

- 使命 愛と希望
- 使 命 濟生（国民の生を救うこと）の心のもとに医療・福祉の充実と弱者救済事業を推進し、社会の発展に尽くします。
- 一、私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、公平安全な医療を提供します。
- 一、私たちは、地域の医療機関との連携を深め、中核病院として地元の皆様に必要なとされる医療を提供します。
- 一、私たちは、医療人としての誇りと責任を持ち、医療の質の向上・教育・研修に取り組みます。
- 一、私たちは、互いに協力・信頼し、感謝する心でチーム医療に取り組みます。

群馬県済生会前橋病院

患者さんの権利と病院からのお願い

患者さんの権利

- ・個人の人格が尊重され、適切な医療を受ける権利
- ・病状や治療内容について十分な説明を受ける権利
- ・自分の意思により治療を選択し決定する権利
- ・医療に関する個人の情報を保護される権利
- ・自分の診療内容について開示を受ける権利

患者さんへのお願い

- ・病状について正確な情報を提示して下さい。
- ・納得できる医療を受けるために、医療に関する説明は、十分に理解できるまで質問して下さい。
- ・病院内での迷惑行為はつしんで下さい。迷惑行為があった場合は退院していただくことがあります。
- ・病院の規則を守って下さい。



循環器内科のご紹介

循環器内科で診療している臓器や疾患は主に心臓および頭部を除いた全身の血管です。また心臓や血管疾患は動脈硬化に密接に関係しているので、高血圧や糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の治療コントロールにも力を入れています。動脈硬化を原因とする疾患に狭心症や心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症がありますが、血管の内側にアテロームというゴミが付着し、血管の内腔が狭くなってしま病気がです。心臓の冠状動脈に起きると、狭心症や心筋梗塞といった病気になり、下肢まれに上肢の血管に起きると閉塞性動脈硬化症になります。血流が減少し途絶えたりすると、心臓や足に血液不足がおき、激しい痛みやひどくなると壊死（細胞が腐ってしまう状態）がみられ、心不全や重症の不整脈をきたして最悪死亡してしまうこともあります。当科ではこれらの疾患の診断治療を最新の方法で迅速、安全、かつ低侵襲で行っています。

狭心症や心筋梗塞では、心臓カテーテル検

査で血管の狭窄や閉塞を認められた場合、バルーンといった風船で広げ、ステントという金属でできた網の目の筒状のものを病変部に留置し、血液の流れを正常な状態に戻す治療を行います。この診断治療は迅速性が求められるため、24時間体制で対応しています。今年の4月より、中野明彦部長をふくめ新しいスタッフ3名が加わり、中野部長のもとパワーアップした診療を行っています。

また冠動脈CT検査や心臓超音波検査、運動負荷試験などの検査部門も充実しており、その他に不整脈疾患に対しての永久ペースメーカー植え込み治療、血液透析患者さんのシャント狭窄閉塞へのバルーン治療、睡眠時無呼吸症候群へのCPAP治療、禁煙外来治療なども行っています。

心臓血管外科、腎臓内科をはじめその他の科と密接に協力しあい診断治療に当たっていますので、体の不調を感じられたり、相談事がありましたら遠慮なく受診してください。



循環器内科代表部長

福田 丈了



これからの食中毒にもご注意を！



栄養科
吉田 聖子

食中毒というと「夏に起きるもの」と考えがちですが、秋～冬にも食中毒は起こります。代表的なものはノロウイルスによる食中毒です。平成22年に全国で発生した食中毒事件のうち約52%はノロウイルスによる食中毒で（厚生労働省HPより）、またその大半が11月から3月に発生しています。1年を通して注意しなければならない食中毒。次のことに気をつけて家庭での食中毒を予防しましょう！

《家庭でできる食中毒予防の6つのポイント》

ポイント① 食品の購入

- ・新鮮なものを購入しましょう。
- ・表示があるものは消費期限・賞味期限を確認して購入しましょう。

ポイント② 家庭での保存

- ・食品は家に帰ったら速やかに冷蔵庫や冷凍庫などに保存しましょう。

ポイント③ 下準備

- ・調理前にしっかり手を洗いましょう。
- ・調理器具は清潔なものを使いましょう。

ポイント④ 調理

- ・生の肉や魚を切った包丁やまな板で、他の食品を処理するのはやめましょう。
- ・野菜も流水でよく洗いましょう。
- ・必要に応じて（生肉を触った後など）こまめに手を洗いましょう。
- ・調理器具の消毒には熱湯や漂白剤を使用しましょう。

- ・加熱する食品はしっかり加熱しましょう。腸管出血性大腸菌やサルモネラ菌などの予防には75℃1分以上、ノロウイルスによる食中毒の予防には85℃1分以上を目安に加熱しましょう。

ポイント⑤ 食事

- ・食事前にしっかり手を洗いましょう。
- ・温かい食品は温かいうちに、冷たい食品は冷たいうちに食べましょう。

ポイント⑥ 残った食品

- ・清潔な容器で保存しましょう。
- ・温め直すときは、十分に加熱しましょう。

食中毒かな？と思ったら、下痢止めなどの薬は飲まずに早めに受診しましょう。

食中毒予防の3原則



お知らせ

秋のコーラス

2011年10月29日(土) 14時～



『女声合唱団 クール・ファミュー』さんによる、ロビーコンサートが開催されます。

「水戸黄門」や「高校三年生」「あの素晴らしい愛をもう一度」などを一緒に歌うコーナーもありますので、お楽しみに！

参加無料ですので、みなさんお誘い合わせの上、ご来場ください。



ふれあいデー2011 開催のご報告

2011年9月10日(土) 晴天の下、「済生会100周年 済生の精神を復興支援の原点に」をテーマに、恒例となった「ふれあいデー2011」を開催いたしました。

第7回を迎える今年は天気にも恵まれ約600名の方にご来場いただき大盛況でした。

この催しは、地域の皆様と病院職員のふれあいを目的に開催しているもので、地元自治会のご協力をいただいております。前回と同様、身長、体重、血圧、血糖、骨密度の測定等のコーナーによる健康チェックのほか、小学校児童による絵のコンテスト、日頃から公民館で活動されているコーラスや演奏、芸術作品の展示など、地域の皆様にも大勢ご参加いただきました。

また、今回は2011年3月11日に発災しました東日本大震災の経験を生かし、非常食の紹介、起震車を使用した地震の体験、当院の災害医療における取り組みの紹介等、防災対策の情報を皆さんに知っていただけるコーナーを設けました。

ふれあいデーを通じて、多くの皆さんに病院を身近に感じていただけたのではないかと考えております。

今後も、地域の皆さんに信頼される病院を目指していきたくと考えています。



ふれあいデー実行委員

秋山 滋 男

災害支援管理栄養士の活動を通して



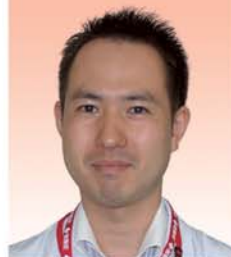
日本栄養士会災害対策本部からの要請を受け、災害支援管理栄養士として、7月12日～15日、岩手県下閉伊郡山田町で支援活動を行ってきました。主な活動内容は、栄養調査、物資の仕分け管理指導、支援物資に対応した献立作成と炊き出し指導、避難所並びに仮設住宅での要支援者のフォロー等でした。

災害対策拠点を遠野市に置き、その拠点から海沿いにある山田町役場まで毎日1時間半かけて移動し活動をしていました。海に近づくにつれ、景色が豹変し、瓦礫の山、基礎だけの建物、山林の中にある船、傾いたままの住宅など、想像を絶する光景が広がっていました。報道で見る一部の景色と違い、海との距離感、そしてその被害の大きさを痛感しました。

実際の活動として避難所での食事・食生活状況、食事内容、食材在庫確認などを行いましたが、体調不良の方にお粥を提供したり、配給されるお弁当以外に、副菜や汁物を提供したりと、食

事に手を加えている様子が伺えました。また、冷凍品などが大量に納品されることも多いようで、使い切れずに賞味期限切れになるケースも多々あるようでした。仮設住宅においては、食生活の支援訪問、食生活の確認などを行いましたが、こちらでも栄養バランスを考え、なるべくいろいろな種類の食べ物から栄養を摂ろうと、工夫している方が多かったです。食料などの調達も、週末1時間程離れた宮古市でまとめ買いをしたり、移動販売車などを利用したりと効率的に行っていました。

このように私が訪れた避難所や仮設住宅の方々は、みな前を向き、歩き出した方が多かったように感じます。しかし、全体としてはまだまだ先の見通しが見えない現状に、悩まされていることと思います。支援に終わりはないと思いますので、これからも支援、復興に向けて活動していけたらと思います。



栄養科
管理栄養士

宮崎純一

『第3回登録医大会』 開催報告

7月15日(金)、当院主催の『第3回登録医大会』を開催しました。

当院は本年4月より『群馬県がん診療連携推進病院』に認定され、これまでも増してがん診療において地域の診療所の先生方と連携を進めております。がん診療をはじめとして、地域の医療体制をより強固なものとするため、登録医の先生方と交流を深める目的で、7月15日(金)当院主催による登録医大会を昨年秋に新装なった新前橋のアニバーサリーコート ラシーネにて開催しました。

当日は、当院の登録医約130名が出席し、当院職員75名を合わせ、200名の参加となりました。

大会は、地域の医師会長より挨拶、乾杯の発声で始まり、当院の診療への理解を深めるための病院の概要説明、各診療科代表医師による各科の特徴の説明、登録医との窓口となる地域連携室などの紹介を行い、その後懇親が深まる中、盛況裡に閉会しました。

今後も地域医療の発展、充実のために、地域の医療機関との連携を強化し、市民、県民の皆様のお役にたてる病院を目指し、努力する所存です。

[登録医・登録医制度とは]

地域のかかりつけ医と当院医師との緊密な連携と、機能、役割を分担して1人の患者さんの治療や経過観察にあたることを目的とした制度です。地域のかかりつけ医に当院の連携先の医師として登録していただきます。当院においては10月1日現在、前橋市、高崎市、群馬郡、渋川地区、他の各医師会から550名の医師が登録しています。

外来医師診療表

* 午前一般外来の受付時間は午前8時30分～午前10時30分です(診察開始は9時です)。
 * 午後の特殊外来は完全予約制です。
 * 休診日は、日曜日、祝祭日、年末年始、第2・4土曜日です。
 * セカンドオピニオン外来のお問い合わせ・お申し込みは地域連携室(027-252-1751)までご連絡ください。
 * 総合外来の担当医師は変更することがあります。

午前の一般外来 <受付時間：午前8時30分～午前10時30分(診察開始：9時)>

月	内科		循環器内科		外科	小児科	整形外科	リハビリテーション科	眼科	泌尿器科
	総合外来(初診) 9:00~10:30 10:30~12:00	一般	一般	睡眠障害外来						
月	福田 仁平	清水【血】・菅【腎】	池田		藍原 中里	溝口【一般】	後藤 長谷川		丸山 遠藤	鈴木【群大教授】
火	高田 逸見	樋口【消】・米田【腎】 竝川【消】	福田 野島		細内 持田	大島【一般】	中島 大谷		岸【群大教授】 下田	
水	池田 内山	樋口【消】・吉永【消】	福田 野島		西藍 原	溝口【一般】	中島 大倉		丸山	
木	初見 杠	仁平【消】・高田【血】 逸見【腎】・久田【呼】	中野 木屋		細内 持田	大島【一般】	長谷川 大谷	白倉【第1,3】	丸山	
金	吉永 田中	初見【血】・矢田【消】	池田	福田【第1,2,3,4】	細内 暮	大島【一般】	後藤 大倉		丸山	
土	交替制	内分泌【第1,3】荻原 呼吸器【第1,3,5】岡山	福田 池田		塚越	第1:大島【一】 第3:溝口【一】 第5:鈴木【循】	第1:中島・長谷川 第3:後藤・大倉 第5:後藤・長谷川		群大	

午後の特殊外来 <完全予約制>

月	内科・循環器内科・心臓血管外科		小児科	
	診療内容	担当医師	診療内容	担当医師
月	心臓血管外科外来	石山・豊田	喘息・アレルギー・慢性疾患	大島
	内分泌外来	荻原	循環器	鈴木(尊)
	禁煙外来	池田		小林(心工コー検査担当)
火	血液外来	佐倉・高田・初見 清水・杠・星野	喘息・アレルギー・慢性疾患	大島
			内分泌・代謝外来	溝口
水	心臓血管外科外来	石山	循環器	鈴木(尊)
	ペースメーカー外来	池田		
	内分泌外来	青木		
	呼吸器外来	牧元		
	血液外来	佐倉		
木	肝臓外来	高木【第2,4】 矢田・竝川	予防接種 乳児健診【第1,3】	大島
	内分泌外来	荻原		
金	腎臓外来	菅・米田	喘息・アレルギー・慢性疾患	大島
	呼吸器外来【第2】	岡山	循環器	鈴木(尊)

交通のご案内

- 新前橋駅よりタクシーで10分
- 前橋駅よりバスで20分
- 高崎駅よりバスで40分



上信バス時刻表案内

(済生会前橋病院発着予定時刻表)

行先	06	43	05	37
7	06	43	05	37
8	23		02	46
9	03	43		31
10	23		01	46
11	43	03	31	
12	33		16	
13		23	01	
14		13	01	46
15	53	03	36	
16		33	16	
17	53	13	01	36
18	33		16	
19		13	01	29
20	28		11	

○印：日祝日は運休

お問い合わせ

代表番号

☎027-252-6011

患者さんへ

- さわやか検診のお問い合わせ
 医事課窓口 ☎027-252-6011 内線1101
- 人間ドックのご予約
 検診センター ☎027-252-1959(直通)
- 初診(診察・検査・入院等)のご紹介
 地域連携室 ☎027-252-1751(直通)
- CT・MRIのご予約
 放射線科 ☎027-252-6011 内線1502

医療機関様

- 前橋市高齢者福祉サービスのご相談
 地域包括支援プラチあずま荘
- 介護保険サービスに関するご相談
 居宅介護支援事業所あずま荘 ☎027-255-1511

介護関連